

オーナー様各位

令和4年8月期決算報告

ミノラス不動産株式会社
代表取締役 石川英嗣

寒冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

以下のグループ6社の令和4年8月期連結決算報告を致します。

- ・ミノラスホールディングス株式会社
- ・ミノラス不動産株式会社
- ・ミノラスサブリース株式会社
- ・ミノラスメンテナンス株式会社
- ・ミノラステナントサービス株式会社
- ・ミノラスステイ株式会社

さて、令和4年8月期は、賃貸管理業においては、堅調に業績を伸ばしており、売上高は342百万円（前年比+5.5%）となりました。また、令和3年8月期において、コロナ禍の影響を受け大きな利益減となったマンスリー事業では、売上高はやや減少したものの、収益改善により前期比+22百万円の利益向上となりました。しかしながら、収益物件企画販売、不動産コンサルティング事業では、オーナー様へ提供する商品づくりとそのための仕入を強化しましたが、当期における販売には至らず、前期比254百万円の減となりました。

最終的な連結ベースの売上高は1,616百万円（前年比▲258百万円、▲13.8%）、経常利益は164百万円（前年比▲49百万円、▲16.5%）と前年から減収、減益という結果に終わりました。

上述しました収益物件企画販売事業での前年比マイナス（売上高▲254百万円）が大きく影響しており、また販管費も前年比+55百万増加しております。内部の生産性向上のための外部への委託費やシステム関連コストの増加が主な要因となっております。



一方、財産面で見ますと、当座比率は 105.3%と前年比 1.7 ポイント低下しておりますがほぼ横ばい状態です。商品強化のための販売用不動産仕入によるもので、借入金も増加しておりますが、現預金も残っており、流動比率は 284.4%（前年比 8.9 ポイント上昇）と安全な状態を保っております。長引く厳しい社会情勢の中、112 百万円の当期利益を計上し、自己資本比率は 51.1%と前年と同水準をキープし、十分な内部留保を蓄積できております。

詳細につきましては、「ミノラスグループ 連結決算報告」をご参照ください。

すでに令和 4 年 9 月より、新たな期が始まっておりますが、個々の判断能力を磨き、組織力を強化し、お客様の問題解決能力を高めつつ、内部の生産性を高め、今期経営計画を実行してまいりたいと考えております。

引き続き、不透明な社会情勢ではありますが、皆様の期待に応え、お役にたてるよう全社一丸となって努力してまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。